

閑上地区まちづくり協議会 世話役会(141) 議事録

日 時	平成 30 年 5 月 29 日 (火) 18:30~20:45
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役：(代表)針生勉、(副代表)阿部ひで、今野義正、(事務局長)今野慎介、南部比呂志、千葉洋子、阿部好二 (事務局)コンサルタント 3 名
オブザーバー	市職員震災復興部 3 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 閑上地区のまちびらきについて 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 140 回世話役会議事録案 資料-1 復興促進イベントのあらまし (事務局) 復興促進イベント実施概要 (名取市) 資料-2 助成金関連資料

○ 協議要旨

0. 事前確認について

<議事録確認>

- ・第 140 回世話役会議事録は、一部修正して確定することとした。

1. 情報共有

<名取市からの情報提供>

・閑上地区内で住民を中心とした自治会組成に向けた活動がいくつか始まるということが報告された。

<世話役からの情報提供>

・民間会社の支援制度について、複数の団体が申請し、ヒヤリングが実施されたことが報告された。

<前回からの動き>

・宮城連携復興センターのヒヤリングについて、今年度も助成金が交付される予定であることが伝えられ、当会ではまちびらきにむけて、各種団体からの知恵出しをしてもらう機会を作るというテーマで、助成してもらうなどの意見交換をしたことが報告された。

<今後の動き>

・7 月 7 日の水辺で乾杯の実施が報告され、今後、催し物内容について議論していく機会があるので意見を出してほしいとの話があった。

2. 閉上地区のまちびらきについて

・まちびらきにむけての企画プレゼン大会について意見交換したが、名取市から今後のスケジュールも含めて、進め方について今後説明してもらうこととした。

3. その他

・次回の検討項目を整理した。

<次回世話役会>

・次回世話役会は6月19日(火)とする。

次回予定:世話役会(141)6/19(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

0. 事前確認

資料-0 第140回世話役会議事録案

<議事録の確認>

・第140回世話役会議事録は、一部修正して、確定した。

1. 情報共有

<名取市情報提供>

→復興促進イベントのふりかえりについて資料を説明。(市)

→中央第二団地付近の自治会組成に向けて、住民から代表者をお願いして、今後顔合せ会等のイベントを通じてコミュニティ形成を図るものとした。(市)

→県道西側のコミュニティ組成については、6回の顔合わせ会、3回の集会所ワークショップを開催予定で、上町町内会もふくめて、意見を調整しつつ、相談していきたい。現在は雰囲気は良くなってきているようなので、進めやすくなったということもある。(市)

・いつまでにワークショップは答えを出すのか？

→来年の3月までに設計をつめることとしている。(市)

・県道東側は何回実施したのか？

→3回である。(市)

・何人参加したか？

→最初は9人で始まった。(市)

・対象者はどうなる？

→参加については、自由参加を基本としたオープンのもりで実施していく。(市)

・県道西側全域で、区画整理区域内と上町町会の対象区域としている。

・県道東側は南側が中心となっているが、今後、緑道北側なども立地していくと多くなる

ことも予想される。

- ・行政区としても各準備組織と風通しを良くしながら進めていきたい。
- ・西地区のワークショップだが、太子堂が入っているので、区域内とするだけでなく、いろいろ意見をもらうということが必要だろう。
- ・太子堂もいれるべきだが、班単位で対応し、人選はしておくべきだろう。

<世話役情報提供>

・中央団地有志の会として、自治会組織組成へ向けて動き出した。防集、区画整理の一般換地、集合、戸建て公営住宅を対象とした団体で助成金を申請し、ヒヤリングを受けることになった。県道西側でも 100 世帯ぐらいが居住しており、集会所もできるので自治会の組織化をすすめていくこととした。

・助成金については、絆実行委員会も申請した。11 月予定の防災訓練について芋煮会、炊き出し訓練、避難訓練を実施予定で、絆づくりの促進のため、集うことをテーマとして申請した。ヒヤリングの際に、申請団体の連携について取れていないとの話もあり、その必要性を痛感した。避難訓練は命を守るという目的で、震災前からやっていたが、そこそこ感があった。よりまじめに取り組むということを実践することとして話をした。

今後、フラム名取、絆実行委員会、中央第二団地の組織、仙台高専の 4 つの団体が相互連携できるとよいと思っている。

- ・公民館はいつ着工？
- ・来年 5 月完成？
- ・報告してもらえればよい。
- ・10 月に道路が切り替え？

→12 月までに全線整備となる。(市)

- ・10 月の時の道路ルートは気になる。

→情報を確認する。(市)

- ・都市デザインワークスの facebook に市長提案したことを掲載した。

→市長提案の発信ができなかったのが、事務局で配慮して掲載した。(事務局)

- ・facebook, SNS 等で情報発信することについて検討していくべきだろう。
- ・今年度の取り組みにもあるので、SNS による発信を具体的に検討できれば良いと思う。

<前回からの動き>

→宮城連携復興センターのヒヤリングの趣旨は、助成金が出せることになり、申請のアイデアだった。

- ・今年も人件費以外は使えるようになったと思う。
- ・助成金の使い方について、まちびらきに向けた考え方などについて、関係者とタイアップしながら、閉上の町ができたありがとうなどの思いを伝える機会として、行政に任せるのではなく、イベントのやり方をプレゼンしてもらったということだった。具体的には

まち協がプレゼン大会を主催することだが、震災復興としての助成金イメージがあるが、イメージを脱局した住民そのものがきづく活動に対して助成をしていただきたいと話をした。

＜今後の動き＞

→水辺で乾杯を 7 月 7 日、かわまちテラス付近で実施予定、前は時間が短かったが、今回は数時間、5:00 から 19:30 までとした、飲食物の販売も、催し物として寄席をやりたいとの話もあり、予算もあるので、企画がまだ確定している状況ではない。次回 6 月 20 日くらいにアイデアだしをする予定であるので、参加して意見をいただけるといい。
(事務局)

・ 閑上小中学校にも参加を声がけしたらどうか？

→前回イベントに参加した団体などにも声がけして、開催していく。時間が長く滞在されると困るとの管理者からの意向もあり、河川区域内は 1 時間程度としても、その周辺で対応しつつ、参加を声がけしていく。(事務局)

・ 流しそうめんは？

・ 雨天は？

→考えていない。(事務局)

・ かわまちとのタイアップは？

→商売にはならないので、協力していただく方向で検討していただいている。(事務局)

・ 何人ぐらいの参加を想定しているか？

→100 人程度予定している。大学等の学生の参加ができるかどうか、現時点では確定していない。(事務局)

・ 閑上小中学校の部活動での発表も考えられる。

・ 次の話し合いで提案してみたらいいのでは。

・ 北海道の石狩中学校と閑上中学校とのあいだで写真などの情報交換などを実施、北海道の地元テレビでは放映予定だそうだ。

2. 閑上地区まちびらきに向けて

→復興促進イベントについて、名取市と事務局から実施概要の説明があった。

→目的が不明瞭だった。お披露目の会、祭り、決起集会など、とらえ方が様ざまだった。その結果の実態だった。まちびらきについても目的とイメージの共有が必要だと思う。くす玉も中途半端な目標にたしての回答になっている。

・ 反省や課題認識については、だれがどうまとめたか？

→復興調整課の業務だったので、各課の職員にヒヤリングしてまとめたものである。当初決起集会としていたことから、記念イベント的な目的に変化したのが今回の大きな問題となってきた。徐々に祭りに振られて、目的があやふやになった感が否めない。

- ・復興調整課が水産加工祭り開催の同日に合わせたのか？
- 農林水産課と水産加工団地組合で春の小女子、秋のしらすの祭りを開催予定していたが、小女子が不漁であったため、復興促進イベントが同日開催をお願いした。
- ・ぐちゃぐちゃかんはある。発注時期の問題はおおきい。
- ・名取市主催なのに、各課の対応がばらばらになっていることは否めない。
- ・マスコミの活用をもっと展開すべきだと考えられる。人が集まってマスコミを通して発信していくことが大事だ。
- ・事前のマスコミ利用も必要だろう。
- ・やっていることを周知することは重要だろう。
- 目標が見えないとマスコミも取材しづらいのでは？（事務局）
- ・各イベントが協調していったほうがいいのではないかな？

→まちびらきのプレゼン大会について説明。（プロジェクト企画書を事務局が説明）

- ・若い人のアイデア出しを期待して大会を実施するということか？
- ・まちびらきには実行委員会が必要だろう。関わる団体で実行委員会を作りたいが、準備組織として各種団体のまちびらきのイメージをプレゼンして、意見交換することが必要ではないかと思う。実行委員会の設立準備として、学生と団体なども調和しつつ、進めることが目的だ。
- ・学生だけでなく、様々な団体の思いをぶつける場として、プレゼン大会を開催するということだ。
- ・事前選考も必要だろう。
- ・閑上に関連する団体にプレゼンの場を作れば協調しあえる場としていいのでは？
- ・目的、テーマを決めることが必要。そうでないとプレゼンできない。枠組み、予算なども条件としては必要。
- ・まち協だけでは発信できないので、名取市にも参加してほしい。
- ・実行委員会の設立に向けて、まち協はコーディネーター役として準備組織を運営する役目をするということだろう。
- ・実行委員会はあったほうが良いとおもうが、提案スケジュールで名取市がのれるかどうか、名取市にも確認が必要だろう。
- ・スケジュール自体もいいのかどうか、時間の問題はある。
- ・大義名分をまち協でつくるべきだろう。
- ・来年のまちびらきのテーマは何かということだろう。
- ・名取市でスケジュールを確認してもらう必要がある。
- 現在は、部内をまとめ、市長への確認をしていく段階である。（市）
- ・通常の段階で進めると間に合わないと思う。
- ・実行委員会の設立が遅い時期に立ち上げる予定なら、ネタの提供という目的でプレゼン

大会をすることはあるのでは？

・広く意見を募って、1回目の話し合いで発表できるといいが。

→実行委員会の役員を担う人ではない人から意見をもらったほうが良い。(事務局)

・実行委員会への提案すべき内容をプレゼンしてもらって、まち協は、若い人の意見を聞いて、提案していくという話だと思う。

→アイデアを聞いてもらいたい人がいるはず。(事務局)

・文化会館などで発表して、プレゼンに対する意見交換なども実施していいのではないか。

→プレゼン大会の実施で意見を名取市に提案していくには、スケジュール的にはむずかしい。10月までに内容が決まっていなくて難しい。実行委員会はまだ設立しているべきだろう。まち協の役割が重要、まちの見せ方などが主な目的だろう。まち協自体が、まちびらきに参加することについて、検討するという事だろう。

・まちびらきに関してどのような役割をしていくか、多様な団体の集約も必要だろうと思う。

・実行委員会の設立をまち協が提案し、どのようなプレゼンが必要か、その中の団体となるのかということではないか？

→実行委員会の構成メンバーはどうなるだろうか？(事務局)

・窓口は？

→まだきまっていない。(市)

・まち協が体制そのものを提案していくことも考えられる。

→関わる団体で実際参加できない団体もあり、まち協が代表して、意見を集約し、連携させるという話だと考えられる。

・市からまち協に、まちびらきについてご意見を伺いたいとのお願いがあればいいのでは？

・協賛する会社や団体などの参画についても情報発信できるとよい。

→まちびらきについて、まち協で意見がまとまれば、名取市に対しても意見しやすい。プレゼンしてもらうことは主催者を応援するという事ではないかと思う。(事務局)

→まちびらきは、協議会のテーマを実現させる機会としてとらえることも可能だろう。(事務局)

・ポケットパークなどに花を植えるなどの活動をまち協が主体となって、実際花を渡すということもあり得る。

・プレゼンする目的は、市主催の通常のイベントになりやすいことをより多くの意見を反映してより良いものとするのが目的で、プレゼンするという事である。

・提案した内容を採用するのが実行委員会であり、その内容をプレゼンで意見を聞くという事をまち協がお膳立てするという事だと思う。

・ポケットパークはいつできる？まちびらきにも植栽などのイベントもありえる。

→プレゼン大会の主催は、まち協でも実行委員会でもいいと思う。(事務局)

- ・学校などをどのように参画させるか？
 - ・実行部隊で入ってもらったほうが良い。
 - ・仮設住宅が集約になっても、元の自治会ごとに代表が参加できるような話を展開できるといいと思う。
 - ・協力できるかどうか、早めに打診していくことが重要。
- 支援団体は裏方の役目だろう、住民を盛り上げる役だろう。(事務局)
- ・美田園北やその他の公営住宅居住者への声かけも必要だろう。
 - ・実際は足がないなどの理由で来れないという人については、そろそろ支援からの脱却時期であることの理解が重要だろう。
 - ・今後は、庁内で調整してもらって、答えを出してほしい。
- 次回の世話役会で企画書案を提示する。(事務局)

3. その他

- ・次回はニュースレターと提案書の達成度資料を議論する。まちびらきについても検討課題とはする。

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は6月19日(火)とする。

次回予定:世話役会(142)6/19(火)18:30～ 名取市震災復興部会議室